



# 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 平成 28 年 7 月 6 日 |                   |
| 所属部局・職          | 野生動物研究センター・博士課程学生 |
| 氏名              | 松島 慶              |

|   |  |
|---|--|
| <b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)   |  |
| 北海道、羅臼町   |  |
| <b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)   |  |
| PWS 羅臼シャチ調査実習   |  |
| <b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)   |  |
| 平成 28 年 6 月 29 日 ~ 平成 28 年 7 月 4 日 (6 日間)   |  |
| <b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)   |  |
| 山本友紀子さん (京都大学野生動物研究センター・研究員)、北海道シャチ研究大学連合 (Uni-Horp)  |  |
| <b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)  |  |
| 写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。<br>別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。  |  |
| <p>本実習では、知床の海洋生態系及び海生哺乳類の研究手法について学ぶことを目的とし、実際のフィールドワークの体験を行った。期間中は、北海道シャチ研究大学連合 (Uni-Horp) の行っている調査に同行し、シャチの探索と観察を行った。Uni-Horp は北海道大学、東海大学、京都大学、常磐大学、三重大学の 5 大学の研究者らによって組織された研究チームで、今まで 5 年間にわたり、調査を続けている。今回は、Uni-Horp のメンバーでもある山本友紀子さんの引率で、今回の Uni-Horp の調査のうち 6/30 から 7/3 の 4 日間の調査に参加した。</p> <p>運の良いことに、PWS の実習チームが参加する直前に、3 個体のシャチに発信器を付けることに成功しており、調査期間中はその情報を元にシャチの居場所を探ることができた。普段は観光船と協力し、範囲内を巡回しながら目視でシャチの居場所を探している。発信器のおかげもあってか、調査の 4 日間のうち、3 日間は 3 群以上のシャチの群れと遭遇することができた。その一方で、全く遭遇できない日もあった。</p> <p>発見後は、船で追跡をしながら観察を行った。基本的に水面に上がり、呼吸をするタイミングでしか観察を行うことは難しいため、観察できる行動は限られているが、背びれやその付近の特徴から個体識別を行うこともできる。また、背びれの形から、オトナ個体の雌雄は安易に判定できる。</p> <p>群内では、2、3 個体が接近して泳ぎ、ほぼ同時に呼吸していることがよく観察された。また、体色が黄色く、生まれて数年と思われる個体がメス個体と共に泳いでいるのもよく観察された。船が近づくと離れてく個体がいる一方で、船に自ら近づいてくる個体もあり、スパイホップやテイルスラップといった行動を目前で観察することができた。これらの行動は、好奇心が高い個体の遊び行動だと言われている。</p> <p>4 日間の調査同行を経て、シャチを観察する面白さと共に、海生哺乳類を研究することがいかに難しいかを知ることが出来た。船を貸し切って調査を行っていることもあり、調査の機会も限られている。そんな限られた環境で最大限の結果を上げるためには、下準備を万全にしておく必要がある。私も今後調査を行う際には、貴重な機会を無駄にしないよう、十分に準備を整えていきたい。</p> |  |
|    |  |
| 視界も非常に良い日が続いた。調査員の方たちは船の 2 階部分から捜索を行っていた。   |  |

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



数個体が集まって泳ぐ様子がよく観察された。海中にマイクを入れてあり、鳴き声も聞くことができた。



尾びれを持ち上げ海面に打ち付ける行動（テールスラップ）。  
旅館からはエゾシカとも遭遇することができた。

**6. その他** (特記事項など)

機会をくださった PWS 及び Uni-Horp 関係者のみなさまに感謝いたします。